

ICカード学生証・ICカード職員証の導入

～キャンパスインテリジェント化の一環として～

大学教育開発・支援センター 堀井 祐介
 情報部情報企画課 内島 秀樹
 村田 勝俊
 村田 記

1. ICカード導入概要

現在、金沢大学の学生証は、顔写真付きプラスチック製磁気スライプカードであり、身分証明書、図書館利用券として用いられており、証明書自動発行機にも対応している。一方、職員証は、単なる顔写真付きプラスチック製カードでなく、さらに、全ての教職員に配付されているわけではない。

このような状況の下、平成20年度から、情報戦略本部内に置かれた教育・研究情報化推進部会でICカード学生証・ICカード職員証の導入について検討を始めた。その時点では、予算の関係から、学生証としては新1年生から順次導入し、年次更新で数年後には全ての学生の学生証がICカードになるという計画であった。その後、平成21年度に入り、ICカード学生証・ICカード職員証導入を本格的に検討することとなり、その検討の場として、同じく情報戦略本部内にある事務情報化推進部会にICカード導入WGが設置された。このWGは、関連教員及び関連部署（総務部、学生部、財務部、情報部、病院部、各地区事務部）からのメンバーで構成されており、ICカードに求められる機能、配付対象、調達および導入スケジュールなどを先行他大学の事例等を参考に検討してきた。その結果、キャンパスインテリジェント化経費での予算措置により、平成21年度内での全在学生、全教職員へICカード配付を決定し、事務情報化推進部会、情報戦略本部、役員懇談会での報告を経て、正式にICカード学生証・ICカード職員証の調達および関連サービス整備へと動き出すこととなった。

予算がキャンパスインテリジェント化経費から出ていることからわかるように、ICカード学生証・ICカード職員証の導入は、現在、金沢大学で進められている全学的ICT活用の一環である。今回導入するICカードは、金沢大学IDをキーとした全ての構成員の身分証明書となり、既存のサービスに加えて、授業・講習等での出席管理、アカンサスポータルポータルや共用利用PC等へのスマートログイン、入退館管理、駐車場利用者管理等への利用が検討されている。これらの新規サービスの内、平成21年度に整備される出席管理以外

のものは、今後数年かけて整備することが検討されている。また、ICカード導入は、これら大学における各種サービス（福利厚生を含む）の更なる向上だけでなく、社会に開かれた大学におけるセキュリティ管理の徹底を図ることに寄与するものである。

今回導入されるICカードのもう一つの特徴は、学内における、特に学生に対する福利厚生の大きな部分を担っている金沢大学生協の電子マネーを搭載することと、生協組合員証機能を持っていることである。金沢大学生協電子マネーは、組合員であるかどうかに関わらず、食堂を含む学内生協店舗で利用可能であり、特に食堂におけるレジ混雑緩和に有効と考えられる。

2. 金沢大学ID

ここで、金沢大学IDについて、改めて確認しておく。金沢大学IDとは、学生、教職員を問わず、金沢大学の全構成員に割り当てられている一意のIDであり、学生にとっては、学籍番号とは異なり、転学類、卒業、就職、大学院進学、金沢大学職員への採用等によっても変わらない、入学時から、卒業後まで一生使えるIDである。また、教職員にとっても、学内での各種認証サービスへのシングルサインオン機能と連動したIDであり、現在主として提供されている教育関連サービスだけでなく、今後は、研究、社会貢献、管理運営、診療等の学内確証業務の連携、円滑な遂行にとってキーとなるIDである。

3. ICカード仕様

今回導入されるICカード学生証およびICカード職員証の基本仕様は、以下の通りである。

- ・接触ICカードの「FeliCa」を採用すること。
- ・FeliCaおよびJIS IIのエンコードを行うこと。
- ・学内ローカルマネー（クレジット機能は不可）を搭載すること。
- ・FCFキャンパスカードフォーマットを採用すること。

- ・現在、学内で利用している磁気ストライプ情報を持たせること。

4.ICカード学生証・ICカード職員証により提供されるサービス

ICカードにより提供されるサービスについて現状および将来構想は、以下の表1を参考にしてください。

平成22年度時利用可能サービス

	用途	備考
ICカード 学生証	学生証	磁気ストライプにより証明書発行機等にも対応
	図書館利用券	磁気ストライプにより対応
	入退館管理	角間南地区、宝町・鶴間地区
	生協組合員証 (生協電子マネー含む)	食堂等の混雑緩和に効果大
	授業出席管理	総合教育講義棟各教室に出席管理システムを整備

	用途	備考
ICカード 職員証	職員証	学内セキュリティ強化
	図書館利用券	磁気ストライプにより対応
	入退館管理	角間南地区、宝町・鶴間地区
	生協組合員証 (生協電子マネー含む)	希望者のみ

今後考えられる新規サービス

	用途	備考
ICカード 学生証	ポータルへのスマートログイン	全学ポータル整備と調整
	教育用PCへのスマートログイン	総合メディア基盤センター等と調整
	入退館管理	角間北地区
	駐車場利用管理	

	用途	備考
ICカード 職員証	ポータルへのスマートログイン	全学ポータル整備と調整
	業務用PCへのスマートログイン	
	入退館管理	角間北地区
	駐車場利用管理	

表1

5.出席管理システム

今回のICカード導入に伴い整備されるサービスの一つに授業、講習会等での出席管理がある。これは、アカンサスポータルの持っている情報と連動し、個別授業ごとに出席状況が把握できるシステムである。より具体的には、以下のような流れで出席管理が出来ることとなる。

- 1.学生は、受講する授業の教室入室時にICカード学生証を教室内に設置されているICカードリーダーにかざす。
- 2.ICカードリーダーの画面に、自分の名前と学籍番号が表示されると共に、当該時間に受講教室にいたということが記録される。
- 3.教員は、(出席を管理したければ)教室入室時に、ICカード職員証を教室内に設置されているICカードリーダーにかざす。
- 4.これにより、教室、時間と授業が結びつけられ、学生の出席データがアカンサスポータルに送られ、教員は、授業中または終了後に学生の出席を確認出来る。

平成21年度は、出席管理端末は、総合教育棟講義室に設置される予定である。平成22年度以降、角間北地区、角間南地区等への導入・設置も予定されている。

6.ICカード導入とキャンパスインテリジェント化

サブタイトル「キャンパスインテリジェント化の一環として」にあるように、ICカード導入は、全学的なキャンパスインテリジェント化と大きな関係がある。今回、全学的に一齐にICカード導入が実現できたことは、今後の金沢大学キャンパスインテリジェント化計画を大きく進めるものである。現在、総合メディア基盤センター中心で進められている全学ポータル開発の一環としての認証基盤整備も進められているが、ICカードによる認証が可能となることで、表1で示したように、今後、様々なサービスを、この認証基盤と結びつけて提供することが可能となり、学生、教職員によるICT活用が促進される。

現在、予定されているサービスは、まだまだ一部であり、今後は、学生、教職員からの意見等も取り入れながら、情報戦略本部を中心に、ICカード関連サービスの充実に努めていきたいと考えている。